

1 題材について

対 象 学 年	中学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	第3学年の内容
題 材 名	「ながれをつくろう」 (全18時間)
題 材 の 目 標	<p>今の生活の中で感じた美しさや味わった感動などを、自分の主題にして意欲的に制作を行う。 【美術への関心・意欲・態度】</p> <p>主題にあった形や構成をイメージし、アイデアを練り上げたり、構想したりする。 【発想や構想の能力】</p> <p>美しいながれをつくり出すために、バルサ材の特性を生かし、道具の用法や技法を理解して、制作する。 【創造的な技能】</p> <p>参考作品や、仲間の作品を見て、よさや美しさを味わい学び取ろうとする。 【鑑賞の能力】</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 学習環境の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の制作に集中できるような机列を工夫する。 ・制作時の用具の使い方や安全性について制作途中に生徒が意識できるような掲示物を作る。 ・制作手順が分かる掲示物を作る。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習ノートによって、毎時間の課題が明確になり、振り返りや制作の見通しと歩みが分かるようにする。
参 考 資 料	<p>資料1：生徒作品</p> <p>資料2：発想・構想時の参考資料</p> <p>資料3：学習ノート</p>

2 題材の評価規準

	ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
内容のまとめりごととの評価規準	<p>【表現】 自然や身近なもの、美術作品などのよさや美しさ、美術文化や文化遺産などに対する関心を高め、自分のよさを生かして創造活動に主体的に取り組み、美術を愛好し心豊かな生活を創造していこうとする。</p> <p>【鑑賞】 自然、美術作品や生活の中の造形、美術文化や文化遺産などの鑑賞に親しみ、美術文化の継承と創造、心豊かに生きること美術との関わりなどに関心をもって鑑賞する喜びを味わい、美術を愛好し心豊かな生活を創造していこうとする。</p>	<p>感性や想像力を働かせて、対象や物事を深く見つめよさや美しさなどを感じ取ったり考えたり、用途や機能を考えたりして、独創的で豊かな発想をし、心豊かで創造的な発想の構想をする。</p>	<p>感じ取ったことや心の世界などをスケッチに表し、想像力や創造的な技能などを働かせ、表現意図に合う新たな表現方法を研究するなどして創意工夫し、創造的に表す。</p>	<p>自然、美術作品や生活の中の造形などに親しみ、感性や想像力を働かせよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、想像力の豊かさなどを感じ取り味わったり、理解や見方を深めたりする。</p>
題材の評価規準	<p>【表現】 美術作品などのよさや美しさ、独特な表現方法などに関心を深め、夢や目標をもち、自分のよさを生かして創造活動に主体的に取り組もうとする。</p> <p>【鑑賞】 抽象表現の作品のもつ美しさや思いを味わい自分の作品に生かそうとする。</p>	<p>感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたこと、夢や心の世界などを基に、単純化や省略、強調するなどして独創的で豊かな発想や構成を工夫し、心豊かで創造的な発想の構想をする。</p>	<p>感じ取ったことや想像したことなど心の世界をスケッチに表したり、主題を基に想像力や創造的な技能などを働かせたり、様々な表現形式や構成、技法など新たな表現方法を研究したりして、創意工夫し創造的に表す。</p>	<p>自然、美術作品や生活の中の造形などの鑑賞に親しみ、美術創造、心豊かに生きることと美術との関わりなどに関心をもって鑑賞する喜びを味わい、美術を愛好し心豊かな生活を創造していこうとする。</p>
学習活動における具体の評価規準	<p>興味をもって作品を鑑賞し、彫刻作品の美しさやよさを味わい感じ取ろうとする。</p> <p>自分のイメージにあったデザインを立体作品として表現するために、多方向から形を美しくとらえ、ねばり強く制作に取り組む。</p> <p>道具の安全性や機能を理解して落ち着いて制作に取り組む。</p> <p>自分や他者の作品のよさを積極的に見付けようとする。</p>	<p>自分の生活を振り返り主題について発想し、主題にあった表現を構想する。</p> <p>平面で発想したイメージに幅や奥行きを付け、アイデアを加えながら自分の作品を立体的にとらえて構想を練る。</p> <p>立体的に考えられたアイデアをリズムや誇張、単純化などのアイデアをさらに加え構想を練る。</p> <p>表現したいフォルムに合わせて効果的な表面の仕上げを工夫する。</p>	<p>自分の主題にあった形を立方体に3方向から形をとらえて長さや幅をあわせてけがきする。</p> <p>バルサ材の特性を理解し、木目や強度を考えて表現したい形を大まかにとらえて必要でない部分をのこぎりで切り落とす。</p> <p>自分の表現したい形の細かい面をとらえ、道具の扱い方、バルサ材の特性、木目による刃の動かし方を理解し、細部を彫刻する。</p> <p>自分の表現にあわせて設置方法を工夫し、耐久性やバランスを考えて設置している。</p>	<p>作品の表現意図や表現の工夫を理解し見方や感じ方を深める。</p>

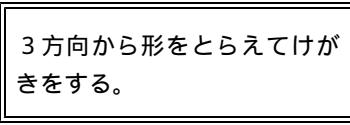
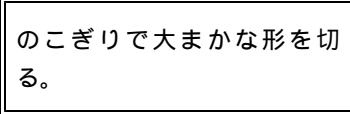
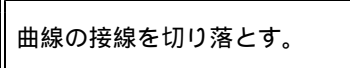
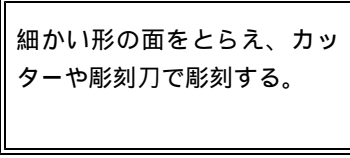
3 指導と評価の計画（全18時間）

(1) 授業の流れ

第1次	アイデアを練る	4時間
第2次	形を追求する	9時間
第3次	表面を工夫する	4時間
第4次	お互いの作品を鑑賞する	1時間

(2) 題材の指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	参考作品を鑑賞して抽象作品の造形的なよさや美しさを感じるとともに、作者の込める思いを感じ取ることができる。また抽象と具象の違いについて理解をする。	参考作品や提示された資料を見て、感じたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">抽象彫刻の美しさやよさを味わう。</div> 参考作品を鑑賞し、作者の思いを形から読みとり説明を聞くことで抽象の意味を理解する。「ながれ」から思い付く言葉を連想する。	<ア - > 興味をもって作品を鑑賞し、彫刻作品の美しさやよさを感じ取ろうとする。 <エ - > 作品の表現意図や表現の工夫を理解し見方や感じ方を深める。	学習ノート ・作品のよさや思いについて書かれているか。 ・抽象ということ自分なりに理解し記述してあるか。	抽象作品と具象作品との美しさや考え方の違いについて理解できるように補足説明をする。学習ノートの意味を理解できるように助言する。
2	自分の生活を振り返り、テーマから連想した中でもっとも表現したいものを選び表現しようとする。	アイデアを練る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ながれを決定し、イメージ化する。</div> 自分にあった「ながれ」を決定する。決めた「ながれ」をイメージ化する。	<イ - > 自分の生活を振り返り主題について発想し、主題にあった表現を構想する。	学習ノート ・自分の生活を振り返って決定した理由を書いているか。 ・決定したものを簡単な線で描いているか。	机間指導の中でつまずきに耳を傾け、具体的なイメージを抱くような助言を与え、決定できるようにする。
3	幅や奥行きを付け、ひねり、リズム、大きさの変化などを加えて線だけのイメージを立体化する。	アイデアを練る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">アイデアを生かしてイメージを立体化する。</div> アイデアを生かして立体化する。	<イ - > 平面で発想したイメージに幅や奥行きを付け、アイデアを加えながら自分の作品を立体的にとらえて構想を練る。	学習ノート ・ひねり、リズム、大きさや幅の変化などを使いアイデアをいくつかノートに描いているか。	イメージの手順を資料として提示し、イメージを立体化してとらえ易いようにする。
4	リズム、誇張、単純化などを使いアイデアを組み合わせて形を決定する。	前時生み出したフォルムを様々な方法でさらに表現にあうよう工夫する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">リズム、誇張、単純化などを使いアイデアを加えて、自分の表現課題を追求し図案を決定しよう。</div>	<イ - > 立体的に考えられたアイデアをリズムや誇張、単純化などのアイデアをさらに加え構想を練る。	学習ノート ・立体的に考えられたアイデアをリズムや誇張、単純化などを使い決定した形を描いているか。	前時生み出した形をさらにおもしろい形にするための方法をいくつか提示して、工夫し易いようにする。

		様々なアイデアを組み合わせたり、省略したりして一つの形を決定する。			
5	正面、上面、側面の3方向から形をとらえ、長さ、幅、量感を正確にとらえて描く。	3方向から考えるイメージとけがきの方法を確認する。  3方向から形をとらえてけがきをする。 バルサ立体に3方向から正確に形をとらえてけがきを行う。	<ウ - > 自分の主題にあった形を立方体に3方向から形をとらえて長さや幅をあわせてけがきする。	作品 ・3方向からとらえて正確にけがきをしているか。	パーツの多い生徒には別々に考えるよう指示をする。 机間指導を丁寧に行い生徒のつまずきをとらえるようにする。
6 7	形を大きくとらえて必要でない部分を理解する。そしてのこぎりを使い切り落とすことができる。	形を大きくとらえるということを理解する。  のこぎりで大まかな形を切る。 作品になる部分と余分な部分を把握して大まかに形をとらえて、のこぎりで切り落とす。	<ウ - > バルサ材の特性を理解し、木目や強度を考えて表現したい形を大まかにとらえて必要でない部分をのこぎりで切り落とす。	作品 ・大きく形をとらえてのこぎりで切り落としているか。	刃物の危険性、安全に使うためのコツなどを十分に指導する。水平と垂直を確認しながら切ると失敗しにくいことを助言する。
8 9	ねばり強く制作に取り組み、立体的に形をとらえ、切り落とす部分を理解して、曲線の接線を切り落とすことができる。	立体的に形をとらえて接線を切り落とすことを理解する。  曲線の接線を切り落とす。 ・曲線部分をできるかぎりけがきに近づけて、のこぎりで3方向からとらえて切り落とす。 ・糸のこ盤で曲線に応じて形を切り落とす。	<ア - > 自分のイメージにあったデザインを立体作品として表現するために、多方向から形を美しくとらえ、ねばり強く制作に取り組む。 <ア - > 道具の安全性や機能を理解して落ち着いて制作に取り組む。	生徒の姿 ・曲線の接線にできるかぎり近いところを切っているか。 垂直に切ることができているか。 ・糸のこ盤の使い方や安全性を理解して使用しているか。 ・ねばり強く制作に取り組んでいるか。	刃物や糸のこ盤の危険性、安全に使うためのコツなどを十分に指導する。水平と垂直を確認しながら切ることを指導する。
10 11 13	イメージした形の面をとらえてカッターで切り落とすことができる。木目を意識して制作に効率の良い方向を考えて彫刻することができる。	道具の使い方、バルサ材の特性などの注意点を説明を聞く。  細かい形の面をとらえ、カッターや彫刻刀で彫刻する。 細かい形の面をとらえ、カッターや彫刻刀で彫刻する。 ・木目の方向性を意識して刃を動かす。 ・様々な方向から量感を考えて形をとらえ、余分な部分を切り落とす。	<ア - > 自分のイメージにあったデザインを立体作品として表現するために、多方向から形を美しくとらえ、ねばり強く制作に取り組む。 <ウ - > 自分の表現したい形の細かい面をとらえ、道具	作品、生徒の姿 ・ねばり強く制作に取り組んでいるか。 ・面をとらえたり、木の方向を考えたりして細かい部分を彫刻しているか。	様々な方向から見て面をとらえることを、見本を提示しながら説明する。 細かい部分の刃物を動かす方向や、安全性を考えた持ち手の位置を指導する。

			の扱い方、パルサ材の特性、木目による刃の動かし方を理解し、細部を彫刻する。		
1416	<p>自分の表現したい形の表面の処理方法を考えて、イメージに応じて根気強く制作を行うことができる。</p> <p>自分の表現したいフォルムに合わせて効果的な表面の仕上げをする。</p>	<p>参考事例により表面処理の違いによるイメージを感じ取り、自分の作品の表面の表現方法を工夫する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>表面の表現方法を考える。</p> </div> <p>参考作品を見て自分の表現したい表面の処理方法を工夫する。表面のテクスチャーに応じてやすりの荒さを工夫してやすりがけを行う。</p> <p>表現方法に応じてニスの種類を選び、ニス塗り仕上げを行う。表現方法に応じて色彩を工夫し、塗装を効果的に行う。</p>	<p><ア - > 自分のイメージにあったデザインを立体作品として表現するために、多方向から形を美しくとらえ、ねばり強く制作に取り組む。</p> <p><イ - > 表現したいフォルムに合わせて効果的な表面の仕上げを工夫する。</p>	<p>生徒の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 根気強く表面のテクスチャーを考えてやすりがけを行っているか。 <p>作品</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な表面の仕上がりになっているか。 垂れやムラのない美しい表面の仕上がりになっているか。 	<p>参考事例をたくさん用意してやすりがけの表面の美しさの違いを示す。また、イメージによっては表面を細かくしない方がよいことを補足する。</p> <p>仕上げに使う素材によって仕上がりに変化があり、効果的なものを選ぶように助言する。</p>
17	<p>表現主題にあわせて、バランスや耐久性を考慮して効果的に設置する。</p>	<p>説明を聞き、設置方法の様々なパターンを自分の作品に合わせて工夫する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>作品のバランスや耐久性を考え、台座に設置する</p> </div> <p>台に取り付け、設置する。</p>	<p><ウ - > 自分の表現にあわせて設置方法を工夫し、耐久性やバランスを考慮して設置している。</p>	<p>作品、学習ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐久性やバランスを考慮して設置できたか。 工夫した点を記述しているか。 	<p>様々なフォルムに合わせて効果的な設置ができるように指導する。また設置するための道具、部品を準備する。</p>
18	<p>作品を設置、展示し、自分や他者の表現のよさや美しさを味わうことができる。また、自分の制作を振り返り、工夫や努力した点を生活に生かそうとすることができる。</p>	<p>鑑賞視点を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>互いの作品を鑑賞し、よさや工夫してある点を見付ける。</p> </div> <p>自分の作品を振り返り、作品のよさや美しさを感じ、学習ノートに記入したり、発言したりする。</p> <p>制作を振り返り、工夫や努力した点を記入する。</p>	<p><ア - > 自分や他者の作品を鑑賞し、よさや美しさを積極的に見付けようとする。</p> <p><エ - > 作品の表現意図や表現の工夫を理解し見方や感じを深める。</p>	<p>発言、鑑賞態度、学習ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んでよさを見付けたり記述しようとしたか。 <p>発言、学習ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞視点を考え、視点に基づいた鑑賞を行い、記述しているか。 	<p>鑑賞視点を確認し、明確な意図をもって鑑賞ができるようにする。</p> <p>鑑賞する上でのマナーやルールについて確認する。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・前時に立体化しようと工夫した図案にリズム、誇張、単純化などのアイデアを組み合わせることで形を工夫することで自分の表現主題に迫る形を追求することができる。

(2) 本時の位置

4 / 18時

(3) 展開案

進	学 習 活 動	評価について	指導・援助
つ か む	<p>本時の活動を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までのアイデアを確認する。 <p>本時の個人追求課題を学習ノートに記入し、交流する。</p>	<p>1時間1時間の課題を個人で設定することでその時間の制作における見通しをもつことができたか。</p>	<p>アイデアのヒントを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『リズム』：同じ形を繰り返すことで動きを生み出す。同じ大きさだけでなく大きさを変えてリズムを表現できることを押さえる。 ・『誇張』：ながれを強調させることでイメージが強くなることを押さえる。 ・『単純化』：簡単な形に置き換えて単純化した線や形の美しさに気付かせる。
<p>リズムや誇張、単純化を使いアイデアを加えて、自分の表現課題を追求し図案を決定しよう。</p>			
ね り あ げ る	<p>参考資料から様々なアイデアを組み合わせたり、省略したりして1つの形を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示されたリズム、誇張、単純化の例を使い、アイデアをまとめる。 ・さらに新たなアイデアを考え出し、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・2つ以上の形の距離や高さを変える。 ・ひねりを加えた形にする。 ・方向性を変える。 ・内部に広がる形、外側に広がる形をイメージする。 <p>仲間と図案についてアドバイスし合い、アイデアをまとめる上で参考にする。</p>	<p><イ - ></p> <p>立体的に考えられたアイデアをリズムや誇張、単純化などのアイデアをさらに加え、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品、学習ノート <p>学習ノートに描いている形やアイデアから判断する。</p> <p>Aと評価される内容： 立体的に考えられたアイデアをリズムや誇張、単純化などを使い、効果的にまとめられている。</p>	<p>Cの状況の生徒への手だて</p> <p>ながれのイメージを引いた線を「リズム、誇張、単純化」を使って表すことで、自分の表現主題に迫れるようにその線を生かした形を具体的な例を挙げて描き示す。</p>
振 り 返 る	<p>本時の制作や態度を振り返り学習ノートに記入し、成果を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを取り入れてアイデアをまとめることができた。 ・提示された例以外のアイデアを考え、みんなに広めることができた。 <p>次時の学習内容や持ち物を確認する。</p>	<p>アイデアに関して、技法や工夫したことについて記入がされているか。</p> <p>また、記入した成果を仲間に広めることができたか。</p>	<p>アイデアを振り返り次の見通しをもつことで、今後の制作に生かしていけるようにする。</p> <p>よさを認め B A、C Bに変わった生徒を意図的に指名し、評価する。</p>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

本時の評価と、個に応じた指導の事例を以下のようにまとめた。

「学習活動における具体の評価規準」に照らして、「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した生徒の具体的な状況例、及び「努力を要する」状況（C）と判断した生徒がいる場合の指導の指導の具体的な手だてを示している。

授業展開の中で、「学習活動における具体の評価規準」に照らして、個の学習状況を把握することに努める。その際、「努力を要する」状況と判断した生徒に対して、学習状況に応じた指導の手だてを講じて、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。それと合わせて、「十分満足できる」状況と判断できる生徒の姿が実現されることをめざして、指導・援助に努めていく。

【発想や構想の能力】

学習活動における 具体の評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手だて
<p><イ - > 立体的に考えられたアイデアをリズムや誇張、単純化などのアイデアをさらに加え構想を練る。</p>	<p>細長い形を3つの同じ形を並列で並べている生徒が、片側は横に並べ、反対側は縦に並べひねりを加えた形として構成した。これは空間的に立体を意識した構成であり、それを自ら気付いてできたことを発想の観点でAと評価できる。</p>	<p>ひもがねじれている形を発想している生徒に対し、単純化した形の置き換えの形を参考例を提示し指導したところ、ながれのイメージをくずさず、丸や楕円の簡単な形にながれを置き換えて表現することができた。</p>

【8 / 18時間目】



【10 / 18時間目】



6 参考資料：発想・構想時の参考資料

